

# 身障いばらき

URL [http://www2.odn.ne.jp/iba\\_sinshoukyou/](http://www2.odn.ne.jp/iba_sinshoukyou/)

第76号 (法人化第27号)

発行者 会長 高木 昇

編 集

一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会  
茨城県水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館

T E L (029) 243-7010

F A X (029) 243-7018



## 仲秋の国営ひたち海浜公園



丘上からの眺望



コキア



海浜テラス



みはらしの丘



キバナコスモス



パンパスグラス

# 部長ごあいさつ



茨城県福祉担当部長

飯塚 一政

高木会長様をはじめ皆様方には、日頃から本県における障害福祉の向上に多大なご尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、第2期新しいばらき障害者プランに基づき、「ノーマライゼーション」と「完全参加」を基本理念として障害福祉施策の推進に取り組んでまいりましたが、策定から3年間が経過したことなどから、これまでの施策の推進状況、障害福祉を取り巻く環境の変化などを

踏まえ、今年の3月に中間見直しを行いました。

今回の見直しでは、新たに日中サービスマジックグループホームの整備促進や基幹相談支援センターの各市町村又は障害福祉圏域への設置促進、難聴児支援のための中核的機能を有する体制の確保、聴覚障害者向け電話リレーサービスの活用促進などを盛り込むとともに、施設入所者の地域生活への移行などに関する数値目標などを設定しております。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、障害者施設における予防とまん延防止に向けた取組みの徹底についても追加しております。

県では、県民の皆様や市町村、福祉関係団体、企業等と連携しながら、各種施策を推進してまいりたいと考えておりますので、貴協議会の会員の皆様方におかれましても、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、茨城県身体障害者福祉協議会のみましますのご発展を心より祈念いたします。挨拶とさせていただきます。



## 目次

○茨城県福祉担当部長あいさつ	2	○地域レポート：取手市、古河市	5
○令和3年度通常総会	3	○会員募集の取り組み：茨城町、東海村	6
○総合相談・自立支援推進事業	3	○結婚相談事業	6
○市町村だより：小美玉市	4	○編集後記	6

### 表紙写真：国営ひたち海浜公園

今年11月5日(金)に当公園で第47回「山の集い」第43回「銀輪の集い」を開催する予定でしたが、会員の安全・安心を考慮し、やむなく中止することとしました。

# 令和3年度通常総会

今年度もコロナ禍のため、第1回理事会並びに通常総会をやむを得ず書面決議としました。6月22日、34すべての会員団体から同意が得られ、令和2年度の事業報告、決算及び欠員役員(2名)の選任案がすべて承認されました。

なお、今年度におきましても高木会長を中心に、副会長5名が各地区のブロック長を兼ね、それぞれが中心となりブロック内の会員団体の連携・連絡に努めて参ります。今年度の役員等は左記のとおりです。

- 会 長 高木 昇 (常陸太田市)
- 副会長 立村 忠 (小美玉市)
- 副会長 岸 三男 (東海村)
- 副会長 松崎昌樹 (潮来市)
- 副会長 高野重彦 (龍ヶ崎市)
- 副会長 尾上孝俊 (常総市)

- 理事 荻津和良 (茨城町)
- 理事 小松崎進 (笠間市)
- 理事 藤田賢司 (大子町)
- 理事 米川正典 (鉾田市)
- 理事 齊藤茂雄 (取手市)
- 理事 大野幸一 (美浦村)
- 理事 服部佳子 (下妻市)
- 理事 今井輝勝 (古河市)
- 理事 村上克行 (龍ヶ崎市)
- 監事 中島秀男 (石岡市)
- 監事 原田保男 (行方市)

以上、理事15名、監事2名今年度新たに選任された役員



監事  
中島 秀男  
(石岡市)



理事  
大野 幸一  
(美浦村)

## 総合相談・ 自立支援推進事業

(県補助事業)

6月25日に予定していた、身体障害者地区就労支援相談員を対象として「相談員研修会」をコロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も中止しました。

このため、「相談員」の方には、別途、「障害者雇用を応援します!」「第2期新しいばらき障害者プラン(改訂版)」「(いずれも県障害福祉課作成)、及び令和2年度障害者の職業紹介状況(茨城労働局発表)等を送付し、障害者雇用に係る主な支援

窓口、助成制度や職業紹介状況について周知を図りました。併せて、相談員の心得や相談活動に役立つ法制度を収めた携帯用「障害者相談員のための活動ハンドブック」(日本身体障害者団体連合会発行)を送付し、日頃の活動に役立てて頂くこととしました。



## コロナ禍においてハローワークを通じた

### 障害者の就職件数が減少

〔令和2年度障害者の職業紹介状況を公表〕(令和3年6月25日茨城労働局)

2年度におけるハローワークを通じた障害者の就職件数は、昨年度から114件減少して、2千49件(対前年度比5・3%減)となり、5年ぶりの減少となりました。

### ハローワークにおける職業紹介状況

	新規求職 申込件数	就職件数	就職対 前年度比
身体障害者	1,079 件	462	13.5%減
知的障害者	700 件	467	4.0%増
精神障害者	1,749 件	899	18.9%減
その他の障害者	514 件	211	211.3%増
合 計	4,042 件	2,049	5.3%減

**個別労働紛争に関する相談内容は9年連続で「いじめ・嫌がらせ」がトップ**  
 ～令和2年度個別労働紛争解決制度施行状況～

茨城労働局では、労働局内及び県内8つの労働基準監督署内に総合労働相談コーナーを設け、労働関係について個々の労働者

と事業主との間の紛争を円滑に解決するため「個別労働紛争解決制度」を運用しております。

この度、同労働局における令和2年度の実施状況が公表されました。(令和3年6月30日)。

「相談内容」については、「いじめ・嫌がらせ」が9年連続でトップで、総合労働相談件数は、2万4千4百余件(前年度比15.4%増)で過去10年間でトップです。このうち、民事上の個別労働紛争に係る相談件数は、5千7百余件(同8.0%増)で平成22年度以降連続して5千件を超える推移となりました。このうち「いじめ・嫌がらせ」に関する相談件数は、2千2百余件となり、個別労働紛争に係る相談内容のうち38.9%を占めています。

また、「助言・指導の申し出」件数及び「あっせんの申請」件数においても、「いじめ・嫌がらせ」がトップになっています。(茨城労働局発表を引用)

## 市町村だより

小美玉市身体障がい者福祉協会

会長 立村 忠

当協会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会をはじめとした令和3年度の年間行事の中止を決定しました。

会員には、感染防止対策の徹底を促す内容を加えた文書にて、5月にお知らせをいたしました。会員の親睦の場が失われつつあることを危惧しておりますが、皆さんの健康と安全を第一に考慮した結果ですので、致し方ありません。

年2回発行している会報『こころ』においては、現在、12月発行号について検討中なのですが、コロナ禍の影響で掲載する出来事や写真が少なく、頭を悩ませる日々が続いております。

この欄では、各市町村からいただいた活動状況等を紹介しています。今後の参考にしていただければ幸いです。

また、例年ですと、今頃は主催の障がい者スポーツレクリエーション教室が開催され、人気のボッチャや卓球バレー、吹き矢等で額に汗をしながら、各施設入居者等と親交を深めているところですが、その機会も無くなってしまいました。

一日でも早く日常に戻れるよう、新型コロナウイルスの収束を心から願っております。



3年4月30日開催役員会

# 地域リポート

各団体会報の記事を掲載します。

取手市身体障害者福祉協議会  
会報「希望」令和3年3月発行

## 「高齢者時代」

本間 孔次郎

私が取手中央タウンに住み始めたのは40数年前です。戸建と高層マンションで5千人の住むニュータウン。スーパー・店舗・幼稚園・保育園も有り、団地内にはバスが通り通勤や買い物で便利で、近くに小・中学校も開校した住みよい団地でした。

最近ではスーパー・店舗等が撤退して買い物難民になり、また取手市で2番目に多い老人の住む町となりました。



取手市身障協も同じで、以前は総会や集会で会員が大勢参加して満員になり、また大型バスでも全員が乗れない程の会員がいました。現在はイベントを開催するのに、会員の参加者を募るのが最大の悩みです。

会員が減少する中で同じマンションに住む、大出副会長の義姉桜井さんが身障協の準会員に入会され、花見会・日帰り旅行・カラオケ・新年会等々に参加頂き大変助かりました。

中央タウンにお店が開店出来ました。団地の有志が市役所に働きかけ、協力が得られました。店名は「ひだまり」です。20数名のボランティアで運営し、店内には日常生活に必要な弁当や色々な食品・商品を陳列、また米や飲料水等の重い商品は自宅まで届けてくれます。「ひだまり」の開店で高齢者や障害者は凄く助かります。

古河市身体障害者(児)福祉団体連合会会報 令和3年3月発行  
「インクルーシブフェスティバル」  
阿部 るり子

毎年「障がい者フォーラム」として開催されていたイベントが本年度から「インクルーシブフェスティバル」と改名された。「インクルーシブ イコール 障がいのある人もない人も共に生きる、それが当たり前の社会を目指す」という意味がこめられている。なかなか格好いい名称のイベントだと思う。本年度は新型コロナウイルスとの長い戦い(依然続いている)があり、かなり規模縮小の形で2月20日(土)に道の駅まくらがの里にて開催された。朝早くから市役所障がい福祉課の職員の皆さんが準備をして下さり、心



ポスター

から感謝。(ありがとうございます)

さて、今年度の作品を拝見し、「あった! 私のお気に入りのE氏の水彩画!」彼は毎年出展してくれている。風景画の細かい部分まで丁寧に描かれている。かなりの時間を費やし、一生懸命に向き合っている渾身の姿が想像できる。

「素敵だなあー。心が洗われる」感動を覚えた。また、今回



フェスティバルの風景



会員の高齢化、施設入所やコロナ禍等による会員の退会は当協議会、市町村各団体にとりましても切実な問題です。ここでパンフレットを作成し会員募集を行った、茨城町「ひまわり会」

## 会員募集の取り組み

は新しい発見もあった。知人の作品、彼にはいつも毒舌を言わせてもらっている。「へえー、こんな素敵な作品を作るんだ、値札をつけても売れるのではないか！ 商売できるかも！」なんて横縞な考えが浮かんでし

まったくらいに素晴らしい出来栄えを感じた。今度会う時は少し敬って「先生」と呼ぼう、なあーんてね。今後も素敵な作品に出会えることを心待ちにして

と東海村福祉団体の例を紹介いたします。会員募集の参考にしたいだけだと思います。



この会報は共同募金の配分を受け発行しています。

令和2年度は、日曜交流会がコロナ禍のため開催できませんでしたが、令和元年度に開催した日曜交流会を機会に知り合い、この度めでたく結婚された笠間市の関賢一様、美智子様(旧姓持丸様)をご紹介します。

## 結婚相談事業 (茨城県委託事業)

のは、76号を数える当会報として初めての試みです。誠におめでとうございます。



今年度はコロナワクチンの接種が始まり、昨年よりはイベント等をより多く開催できるのではと淡い期待を抱いておりますが、暫し、より慎重になることが必要なのではないかと思われ

## 編集後記

(k・n)